

ガイバー (1991)

GUYVER

MUTRONICS [米]

メディア 映画

ジャンル アクション SF

製作国 日本/アメリカ

時間 95分

初公開日 1991/

公開情報 松竹

【解説】

「月刊少年キャプテン」（徳間書店）連載中の高屋良樹原作の『強殖装甲ガイバー』の実写映画。ハリウッドの2大特殊メイク・アーティスト、スクリーミング・マッド・ジョージとスティーヴ・ワンが独自のアレンジで見事にガイバーを立体化している。ガイバーの変身（殖装）シーンは特に見事である。登場する敵の怪物・ゾアノイドも原作とは異なるオリジナルデザインのもの。ストーリーは、原作とは異なり、かなりコミカルタッチとなっている。特に敵であるゾアノイドにそれは顕著で、彼らの台詞はマッドジョージ監修の「関西語」字幕となっている。この点が賛否分かれるところであろう。ちなみに獣神将バルカスを怪優デヴィッド・ゲイル（「ZOMBIO/死霊のしたたり」）が演じているのに注目。悲しいかな、この作品が彼の遺作となっている。

《全特撮レビュー》

高屋良樹原作「強殖装甲ガイバー」をハリウッドが映画化した作品。かつて地球に来訪した宇宙人の兵器、“超生体兵器ガイバー”を手に入れたショーンと、悪の組織クロノスとの闘いを描く。監督のスティーブ・ワンは台湾生まれ、『プレデター』等で頭角を現したハリウッドの特撮マンだが、子供の頃感銘を受けた映画に『ウルトラ6兄弟vs怪獣軍団』を挙げ、当『ガイバー』製作時の談話では『機動刑事ジバン』が好きだと答えた強者。アクションシーンはやや単調であるものの、ガイバースーツの出来が素晴らしく、ショーンが殖装するロングカットは人形であると指摘されないとまず分からないだろう。変わり果てた姿でマーク・ハミルが出演、ファンを驚かせた。『ZOMBIO（ゾンバイオ）/死霊のしたたり』で知られるデヴィッド・ゲイルの遺作でもある。

【クレジット】

監督	スクリーミング・マッド・ジョージ	Screaming "Mad" George
	スティーヴ・ワン	Steve Wang
製作	ブライアン・ユズナ	Brian Yuzna
製作総指揮	和田豊	
	小峰昭弘	
原作	高屋良樹	
脚本	ジョン・パーディ	Jon Purdy
撮影	レヴィー・アイザックス	Levie Isaacks
美術	マット・ジェイコブ	
編集	アンディ・ホルヴィッチ	Andy Horvitch
音楽	マシュー・モース	
出演	マーク・ハミル	Mark Hamill
	ヴィヴィアン・ウー	Vivian Wu

ジャック・アームストロング	Jack Armstrong
デヴィッド・ゲイル	David Gale
グレッグ・パイク	
ジミー・ウォーカー	Jimmie Walker
ピーター・スペロス	Peter Spellos
マイケル・ベリーマン	Michael Berryman
スパイス・ウィリアムズ	Spice Williams
ジョニー・サイコ	Johnnie Saiko
ジェフリー・コムズ	Jeffrey Combs
テッド・スミス	Ted Smith